

## 10月～11月の学校生活の様子から

10月26日(日)には、縄文まつりが行われました。当日は生憎の雨だったため、体育館で縄文まつり集会を開催しましたが、保護者や地域の方々に多数ご来校いただき、「豊穰儀礼、縄文時代の衣・食・住に関する発表(1～3年)、縄文の歌(4年生のリコーダー演奏と5年生の縄文太鼓演奏)」の発表を見ていただくことができました。来年度は好天に恵まれ、いつも通りの開催ができることを願っています。多数の方々に参観していただき、ありがとうございました。



11月21日(金)には、音楽会が行われました。どの学年の発表にも工夫があり、子どもたちが精一杯思いを伝えようとしていたのがわかる素敵な演奏でした。子どもたちの演奏を聴きながら、心地よいあっという間の時間を過ごすことができたのではないかと思います。たくさんの保護者や地域の方々に参観していただき、ありがとうございました。



# 11月 校長講話「なかよし旬間について」より

(前略) さて今週の火曜日から、更級小学校では「なかよし旬間」が始まっていますが、この旬間には3つのねらいがあるので確認します。

- ① 身のまわりの人権問題に気づき、相手の立場に立って考え解決しようとする気持ちを育てる。
- ② 自分の存在を大切にでき、自己表現ができる態度を育てる。
- ③ 相手の気持ちや立場を理解し、友だちを大切にしようとする人間関係づくり。

難しい言葉ですが、今年の3つの合言葉に置き換えると、②はお互いのことを「もっとわかりあい」、③は「ありがとう！をもっと」言い合えるよう毎日がんばると、①のように「みんなでもっとまなびあいながら、身のまわりの人権問題に気づき、それを解決しようとする気持ちを育てることができる」という意味になります。

では、身のまわりにある人権問題って何でしょうね。それは、相手が嫌な気持ちになる言葉や行動すべてを指すと校長先生は思います。今日はそれにかかわって、「一秒の言葉」というお話をします。みなさんは、「一秒」という時間がどのくらいかわかりますね。そのとっても短い時間で言える言葉には、どんな言葉があるか心の中で思い浮かべてみてください。浮かびましたか？ 1秒に関係する一つの詩を紹介しますので、聞いてください。

## 「一秒の言葉」 小泉 吉宏

「はじめまして」	この一秒ほどの短い言葉に	一生のときめきを感じることがある
「ありがとう」	この一秒ほどの短い言葉に	人の優しさを知ることがある
「がんばって」	この一秒ほどの短い言葉で	勇気がよみがえってくることがある
「おめでとう」	この一秒ほどの短い言葉で	しあわせにあふれることがある
「ごめんなさい」	この一秒ほどの短い言葉に	人の弱さを見ることがある
「さようなら」	この一秒ほどの短い言葉が	一生の別れになる時がある
	一秒に喜び 一秒に泣く	一生懸命 一秒



「おはよう」朝、おはようと声をかけたりかけられたりすると、何だか嬉しい気持ちになります。「ありがとう」なんか心があたたかくなります。「がんばれ」よしやるぞという気持ちになります。どの言葉も、言われて嬉しい言葉ですね。

でも逆に、とっても嫌な気持ちや悲しくなってしまう言葉もあります。「バカ」「死ね」「きもい」などの言葉を、言ってしまったことはありませんか？ きっと、この言葉を今まで言われたことがある人は、悲しかっただろうし、切なかっただろうし、苦しかっただろうと思います。

うれしくなる言葉、元気のする言葉、あたたかくなる言葉、悲しくなってしまう言葉、切なくなってしまう言葉は、どれもみんな「一秒の言葉」です。「たった一秒の言葉」にも心があるのです。そのことを難しい言葉で言うと「言霊(ことだま)」と言います。みんなの口から出る言葉や、たった一秒しかかからない言葉には、心があるのです。言葉が持つ心は、相手の心を傷つけたり、あたためたり、元気づけたりします。人は「一秒に喜び 一秒に泣く」んだということを、改めてみなさんの心に留めて欲しいと思います。言葉について見つけた、こんなCMがあったのでみなさんに紹介します。(CMの視聴)

「たった一言が 人の心を傷つける たった一言が 人の心をあたためる」

このことを、これからいつも心に留めて生活していきましょう。そして、毎日気持ちが温かくなる言葉があふれる教室になるよう、全校のみなんで取り組んでいってほしいと思います。

## 【冬日課の運用について(再掲)】

秋が深まり日暮れが早くなっているため、子どもたちが明るいうちに帰宅できるように校内で検討した結果、今年度から**冬日課を運用することになりました。以下の内容で期間を定め、毎日下校時刻を早める対応をしていきます**ので、ご理解・ご協力をお願いいたします。なお、必要に応じて関係者等への連絡をお願いいたします。

- 1 期 間 令和7年12月1日(月)～令和8年1月30日(金)の2ヶ月間(場合によっては延長もあり)
- 2 内 容 すべての平日を水曜日課にして、下記の下校時刻とする。(通常より30分早めの下校)  
○5時間授業の日の下校時刻 14時25分  
○6時間授業の日の下校時刻 15時15分
- 3 その他 状況によって終了時期を延長する場合は、改めて連絡させていただきます。